

熱流量データの解釈 ガイドライン

2006.1.9

木下正高

○観測時間のガイドライン

- Ewing
- バイオリンボー
- ドイツ式

○平衡温度を取る区間

なるべく長くする

○直線でないプロファイルが得られた場合

- 平衡温度のフィットが悪い
温度-時間のグラフから判断する。

- 水温変動

$\text{Exp} \cdot \cos()$ の式で考える。

海底面での水温変動の振幅を最大値とする変動、熱水では無視してよいが、流入域や冷湧水サイトでは無視できない。

- 熱伝導率の変動

熱伝導率を考慮した、ブロードプロットを行う。

ただし、せいぜい 10% の変動であるので、温度勾配が 10% 以上変動している場合はこれが原因ではありえない。

- 間隙水の流動

ダルシー流の式を適用。